



### アート書で人々の心に彩りを

おそのえ  
小園江美幸さん(32歳・長野)

自由な発想と感性でデザインできる書として、若者を中心に人気となっているアート書。今月紹介する小園江美幸さんは、アート書を通して見る人に勇気やパワー、さらには癒しを与える「彩」RODOR書家「美連」として活躍しています。

小学2年生から書道を始め、中学生のときには師範免許を取得していた小園江さん。中学卒業後も高校で書道を続け、「書の甲子園」といわれる国際高校生選抜書展で入選するなど輝かしい成績を残しました。現在は、2児の母として子育てに奮闘する傍ら、27歳のときに開いた書道教室で指導に当たっています。

小園江さんがアート書に挑戦するようになったのは、22歳のとき。街中を歩いていると、筆文字で華やかに表現されている看板や商品ロゴ、ポスターなどが数多く存在することに気付いたのです。「自分もあんなすてきな文字が描けるようになったらいいな」。創作意欲をかき立てられたことから、独学で筆文字デザインを



研究するように。さらには、都内で行われていた筆文字デザイナーを養成するための講座を受講し、アート書の「いろは」を一から学びました。

講座を通して筆文字に無限の可能性を感じた小園江さんは、アート書の魅力を伝える書道家になることを決意。これまで自身が抱いていた書道に対する考えを覆すため、「今日はお酒のラベル。今日はあの商品のロゴだ」と架空のデザインを描くことを毎日の日課にしたそうです。なかなかイメージどおりにいかず、悪戦苦闘することも。しかし、地道に練習を重ねたことで、徐々に独創的で味のある文字を生み出すことができるようになっていったのです。

初めて商品パッケージラベルとポスターデザインの制作を任せられたのは、29歳のときでした。完成したものが店頭に並び、「商品のイメージを端的に表現している」と評判を呼び、他の商品ロゴやデザイン命名書の作成を依頼されるようになったそうです。また、1人でも多くの方にアート書を気軽に楽しんでもらおうと、都内でワークショップなども開催。小園江さんは「小さい子どもやお年寄りの方が自分で描いた文字を見て喜んでる姿を見ると、とてもやりがいを感じますね」と声を弾ませます。

「今後は、行田でもアート書の教室を開いたり、地元企業とコラボレーションをしたりと、地元での活動にも力を入れていきたい」と語る小園江さん。人々の心に彩りを与える書道家は、新たな目標に向かって今日も筆を走らせます。

### 私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。  
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で  
広報広聴課へご応募ください。

- |                 |           |                 |           |
|-----------------|-----------|-----------------|-----------|
| 俳句              | 荒木 小林 康男  | 山里の人まばらな吊し雛     | 佐間 須永 節子  |
| 早春譜利根大堰の水の音     | 持田 伊藤 洋子  | 雛の間の襖を明けし小さき手   | 長野 吉野 らん  |
| 干し竿の水滴水り真珠かな    | 門井町 嶋田 茂  | 着てるもの一枚脱いで春つらら  | 持田 丸山 麟一  |
| 草餅ややわらかき風吹きぬけて  | 城南 橋本千枝子  | 枝垂れたる枝の付け根に花二片  | 持田 小倉 繁三  |
| 足袋蔵をめぐる城下や水の春   | 齋条 小林 英与  | 菜種梅雨二ユース悲しき事ばかり | 荒木 藤田 明枝  |
| 働けど縮まぬ格差多喜二の忌   | 南河原 今村 文女 | 杖つきて集ふ昭和の梅の花    | 棚田町 財津ミチエ |
| さくら餅老いの二人のティタイム | 城西 西田吉之助  | 忍城跡ぱつと芽吹きて水面揺る  | 棚田町 春田 枕流 |
| 逆らわず流るる川に春近し    | 忍 飯島 素子   | 遊歩道行く先々にふきのとう   | 城南 町田 達男  |
| 悴みて手と手で包む湯呑かな   | 荒木 森田 静   | はつらつとランドセル舞う立春日 | 向町 渡月 峯   |
| その辻を曲れば違う春日かな   | 城西 鈴木 正夫  | 春一番杭一本が直立す      | 荒木 藤田 栄之  |
| 春寒し友の懐猫の顔       | 城西 鈴木 正夫  | (三沢 一水 監修)      |           |

## はじめまして



### 平成26年6月生まれのお子さんを募集します

○4月1日(水)～30日(木)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)  
※応募要領は市ホームページをご覧ください。  
○応募者多数の場合は、5月7日(木)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成26年 4月生まれのおともだち ★★★



いくと あると  
上野 生叶ちゃん・生翔ちゃん(向町)  
平成26年4月4日生まれ  
父・生太さん 母・沙也加さん  
「幸せは2倍以上♡」



りんたろう  
秋山 凛太郎ちゃん(渡柳)  
平成26年4月11日生まれ  
父・亨さん 母・裕晶さん  
「凛とした男の子になってね!!」



まさき  
中川 真希ちゃん(駒形)  
平成26年4月24日生まれ  
父・正則さん 母・希和さん  
「我が家のアイドル♡」



はるな  
卯都木 春奈ちゃん(増毛)  
平成26年4月11日生まれ  
父・亮さん 母・玲子さん  
「ここに笑顔で、大きなあれ♡」



はのん  
原口 春音ちゃん(長野)  
平成26年4月8日生まれ  
父・大輝さん 母・百夏さん  
「我が家の可愛いやんちゃガール♡」



りょうへい  
鯨井 稜平ちゃん(長野)  
平成26年4月15日生まれ  
父・淳太さん 母・歩さん  
「元気で明るく、優しいシエントルマンに☆」



はのん  
原口 春音ちゃん(長野)  
平成26年4月8日生まれ  
父・大輝さん 母・百夏さん  
「我が家の可愛いやんちゃガール♡」

## ぎょうだの会社を グローバルアップ!!

## 有限会社早崎ルーフ工業

### 地域に根ざした外装工事のスペシャリスト



### 会社プロフィール

代表取締役 早崎 敬  
【事業内容】 建築板金内外装工事一式  
【住所】 谷郷469-7

平成6年に創業し、屋根・雨どいの施工や修理、外壁工事など建築板金工事を行っている有限会社早崎ルーフ工業。建築板金に関する豊富な知識と技術を兼ね備える同社は、外装工事のスペシャリストとしてお客さまから厚い信頼を得ています。

外装工事の中でも、特に屋根のリフォームに力を注いでおり、施工には軽量で地震に強く、耐熱性・耐久性に優れたガルバリウム鋼板を使用。さらに、中間手数がかららない工事店という強みを最大限に生かし、低価格で高品質の屋根材を提供しています。また、打ち合わせから施工、アフターサービスに至る全ての業務を一人の担当者が行い、工事後も責任を持って対応することで、お客さまとの深い信頼関係を築き上げているのです。

代表取締役の早崎敬さんは「社員全員が全工程を熟知しており、大手メーカーでは難しいとされる細かいオーダーにも対応でき、アフターフォローもしっかりしているのが強みです」と語ります。

地域に根ざした工事店として、常にお客さまの立場に立った経営を心掛けています。

掛けている同社。その方針が顕著に表れたのが、昨年2月に記録的な大雪が降ったときのことでした。雪の重みで住宅の雨どいなどが壊れてしまう被害が多発する中、このことをいち早く把握し、社員一丸となって迅速・丁寧な対応で修理を行いました。お客さまからは「すぐに対応してくれて助かりました」といった感謝の声をたくさんいただいたそうです。

卓越した技術と、迅速な対応で顧客満足度を向上させている同社は、近年内装業にも力を入れています。特徴的なのが、内装にあまり使用されないトタンやブリキなどを活用しているところ。個性的な空間を創り出すことができるとあって、特に飲食店などから注目を集めています。

「地域の皆さんに支えられて、ここまで成長することができました。仕事を通して皆さんに感謝を伝えるとともに、中小企業でしかできないきめ細やかなサービスをさらに提供していきます」と笑顔で語る早崎さん。同社は建築板金のスペシャリストとして、これからも快適で話題性のある住環境を提供してまいります。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。  
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

監修者 三沢一水氏 略歴 昭和61年、南河原中央公民館に「きたむさし俳句会」を創設。平成6年に埼玉県文化創作展俳句部門知事賞(第1席)、平成20年に浮野同人賞「谷川賞」を受賞。平成25年から行田市俳句連盟会長を務める。